

## 梅雨前線の活発な活動による豪雨対応状況（第2報）

九州北部における梅雨前線の活発な活動による猛烈な降雨に由来する洪水被害に対応するため、水資源機構本社は、筑後川局及び朝倉総合事業所と共に、7月5日16時30分に非常態勢を執り対応しました。九州管内で水資源機構が管理している施設に大きな被害は現時点で確認はされていません。7月6日18時時点での自治体への支援状況は以下のとおりです。

福岡県朝倉市周辺において、大規模な災害が発生したため、災害対策基本法に基づく指定公共機関としての役割を担うため、下記自治体にリエゾン（災害対策現地情報連絡員）を派遣しました。

- ・朝倉市役所に2名（7月6日6時5分～）
- ・福岡県朝倉県土整備事務所に2名（7月6日6時5分～）
- ・東峰村役場小石原庁舎に2名（7月6日7時30分～）
- ・東峰村から必要な資機材等を聞き取り、7月6日16時15分に東峰村役場小石原庁舎へ資機材等（ブルーシート100枚、衛星携帯電話、災害時毛布若干、食料等）の運搬を行いました。
- ・朝倉市の要請を受け、機構の受注業者が所有する散水車を派遣し、7月6日11時に現地に到着しました。
- ・朝倉市の要請を受け、ドローンとそのオペレーターを派遣し、7月6日14時に現地に到着しました。

平成29年7月7日



独立行政法人 水資源機構

発表記者クラブ

国土交通記者会  
水資源記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 総務部広報課 河合、澤田  
住所：埼玉県さいたま市中央区新都心1-1-2  
電話：048(600)6513

(位置図)



支援物資運搬状況（東峰村役場小石原庁舎）